

平成26年第3回羽村市議会（定例会） 一般質問通告項目一覧表

発言順	議席番号	議員氏名	質問項目	質問日
1人目	3番	中嶋 勝 (60分)	<p>1. 市民の健康に関することについて</p> <p>(1)市民の健康維持、増進、予防に関して市の基本的な考えを伺う。</p> <p>(2)難病医療法と改正児童福祉法、いわゆる難病関連2法が成立し、2015年1月から医療費助成対象の拡大が図られることについて</p> <p>①市の現在の難病疾患数と難病患者数を聞く。</p> <p>②対象疾患数と患者数はどれくらい増えているか。</p> <p>③新たな難病患者の方へ、障害福祉サービスも含めた支援策について聞く。</p> <p>④不安を除くための難病患者の相談体制や市民の難病に関する理解を深める対策は。</p> <p>(3)アレルギー疾患対策基本法の成立で地方自治体である羽村市での対応は。</p> <p>(4)過日、日本人間ドック学会と健康保険組合連合会が発表した血圧や血糖値、コレステロール値などの新たな基準範囲案について</p> <p>①市民の中には迷い不安に思っている方もいると聞いている。市の考えは。</p> <p>②市で行う検診や市民への配布物等への基準範囲表記はどうか。</p> <p>③羽村市医師会の考えをどう聞いているか。</p> <p>(5)市民やサークル団体が野外で競技や練習、またイベント等を催す際、いざという時のためにAEDの貸し出しを望む声があるが、そのような体制を考えてはどうか。</p> <p>2. 住みよい市営住宅にするために</p> <p>(1)6か所ある市営住宅の今後の整備計画はどうか。</p> <p>(2)バリアフリー対策をもっと進めてほしいとの要望があるが</p> <p>①居室部においてはどうか。</p> <p>②特に階段の手すりなど共用部においてはどうか。</p> <p>(3)高齢世帯や独居世帯が増える中で地域とのつながりについて</p> <p>①入居者と地域とのコミュニティをどう作っていくか。</p> <p>②町内会や老人クラブへの加入促進をどう図るか。</p> <p>③特に高齢入居者の安否確認体制の整備は今後大きな課題と思うが市の施策を伺う。</p>	9月8日

2 人目

6 番

大塚 あかね
(60 分)

(4)敷地内に入居者の不要物と見受けられる自転車やタイヤなどが目立つ市営住宅がある。模範となる公共施設として整理整頓を望む。また、そのルール等はどうなっているのか。

3. 小作駅東口駅前多目的広場の活用について

- (1)現在の利用頻度と内容を伺う。
- (2)利用条件や注意事項等はどうなっているか。
- (3)ダンスや演奏などを披露する場が欲しいとの要望があるが、利用の拡大を図ってはどうか。
- (4)利用者から舞台ステージを拡大して欲しいとの意見がある。拡大することでさらにニーズが広がると思うがどうか。
- (5)ドームテントについて
 - ①ドームテントはどこがどのように管理しているか。
 - ②ドームテントはビニール製のため今後エアール漏れ等の恐れがある。保障等はどうなっているか。
 - ③ドームテントの設置は大掛かりなため、経験が必要とのこと。技術継承をどう考えているか。
- (6)催しを行う際、広場周辺の環境も大事である。植え込みや除草等の適切な管理を望むが。

1. 「はむらの水」をいつまでも飲み続けていくために

- (1)厚生労働省は「安全」「持続」「強靱」を水道の理想像として示し、水道事業者と共有し、推進していくことを示している。羽村市としてどのように取組みを進めていくのか。
 - ①震災対策について
 - ア 重要給水施設配水管の耐震化について
 - ・現在の進捗率は。
 - ・国のロードマップでは5～10年後に重要給水施設配水管の耐震化率を100%にするという目標が掲げられており、その目標達成へ向けて耐震化の積極的な推進が求められているが、達成の見込みはあるのか。
 - イ 停電を想定したエネルギー確保対策はどのように取られているのか。
 - ウ 応急給水の準備対応は東日本大震災以降、どのように取られているか。
 - ②「はむら水安全計画」で地震、停電に対する設備故障が「管理措置なし」となっているが、他に対策は講じられているのか。
 - ③市民とのコミュニケーションの促進について
 - ア 市民への積極的な情報拡大を行っていくべきではないか。

9月8日

(水道事業の直面する課題や、水道事業の実情を積極的にわかりやすい情報提供が必要ではないか)

イ 水道水をおいしく飲める啓発活動など、水道水への意識を高める活動を行ってはいかがか。

④他水道事業との連携について

ア 昭島市、武蔵野市の水道事業との連携はどのように図られているのか。

イ 多摩水道連絡会からの情報収集や連携は行われているか。

(2) 東日本大震災の経験、そして料金改定など踏まえ、「羽村市水道ビジョン」は改定する必要があるのではないか。

(3) 羽村の「おいしい水」を使った商品開発や「水はむら」の販売の工夫など事業展開を検討してはいかがか。

2. 高齢者、介護する方の立場に立った施策の展開を！

(1) 介護する方への支援について

①地域医療・介護総合確保推進法が成立した。市民の皆さんには正しく理解されておらず、改正内容について誤解をしている方も多い。改正内容について保険者として市民に対し、丁寧な説明を行うべきではないか。

②若年介護者への支援について

ア 羽村市内の実態を把握しているか。

イ 若年介護者の課題を理解し、積極的に支える体制作りが必要ではないか。

③平成24年第3回定例会にて介護離職を防ぐための取組みについて質問したが、その後、介護離職を防ぐ取組みはどのように進められているのか。

(2) 高齢者への「見守り」について

①高齢者の見守りの一つである「緩やか」の定義について何う。

②「緩やかな見守り」を実効性のある取組みに発展させてはいかがか。

(3) 公共施設の「階段」は、車いすや杖を使っている方、介護する方にとって障害物そのものである。高齢者や介護する方の立場に立って、工夫すべきではないか。

3 人目

7 番

西 川 美佐保
(60 分)

1. 心と体の健康寿命を伸長する予防対策について

(1) 「前立腺がんのPSA値の測定や、ピロリ菌を調べるハイリスク検査」も、特定健診で血液検査を行う際、希望者の申し出により自己負担(半額)で受けられるようにしてはどう

9 月 8 日

かと以前質問したが、その後どう検討されたのか。

(2)日野市のように、胃がんの早期発見と検診受診率の向上を目指し、胃がんリスク検査（ABC検査）を無料で実施し、市内の医療機関で個別に血液検査、医師の説明を受けて、リスクに応じてX線バリウム検査を行うようにしてはどうか。

(3)平成24年6月議会でも質問した、心の健康状況やストレスをパソコンや携帯電話でチェックできるシステム「こころの体温計」が充実し、認知症の度合いを自分でチェックできるシステムもオプションで追加されたと聞く。このシステムを導入してはどうか。

(4)現在行われている認知症予防プログラムに、「デュアルタスク」など、より効果的で具体的対策を実施できるコースを取り入れてはどうか。

2. 女性の活躍できる社会の実現を

(1)労働の分野について

①羽村市は「男女共同参画都市宣言」を行っているが、意識啓発はどう進めていくのか。

②30代の働く女性の減少（M字カーブ）を改善するためには、元の職場へ復帰できる環境を整える必要があると考えるが、市の今後の取組みについて何う。

③女性の起業支援として、商工会やハローワークと連携したセミナーやワークショップなどを行ってはどうか。

(2)教育の分野について

①赤ちゃんに全く触れる機会が無いまま親になる人も多いと聞く。それが育児不安や虐待に繋がる可能性もあると思うが、中学生から赤ちゃんに触れる機会を作ってはどうか。

(3)防災の分野について

①地区防災計画について

ア 地区防災計画を作成することの必要性を市は認識しているのか。

イ 地区防災計画を作成とした場合、地域コミュニティの課題や対策を検討するメンバーに女性や町内会未加入者も入れて、多くのメンバーが関われる体制で実施してはどうか。

②女性の防災関係者から、避難所となる学校に、備蓄品として水を必ず入れてほしいとの声があるが、水の備蓄はどのようになっているのか。周知はどのように図るか。

③三角巾の使用について

ア 毎年各避難所では防災女性の会により、三角巾を使用したケガの手当など実施している所が多いが、その必要性についてどのように考えているのか。

イ もし必要と考えるなら、三角巾または各家庭にある布などを持参して利用する訓練をすべきではないか。

(4) 子育ての分野について

- ① 青空市でフリーマーケットが毎年開催されているが、子育て支援の一環として、定期的な青空市の室内版を保健センターなどで開催できないか。
- ② 若い世代の定住を促進し、負担軽減するため、2世帯住宅に助成するなど優遇制度を設けてはどうか。
- ③ これまで提案してきた商工会と連携した子育て支援カードは、子育て支援のみならず全市民を対象にするとの意向だったが、今後具体的にどのような内容を、どのように推進するのか。
- ④ 大阪府熊取町を参考に市の子育て支援事業をDVDなど映像にまとめ、ホームページで紹介するなど子育て支援サービスの見える化を実現してはどうか。

3. 地域社会で立ち直りを助ける体制を

- (1) 道を外れた青少年の支援をして下さる企業を「協力雇用主」として法務省や厚生労働省で募集しているが、市でも保護司と連携して、「協力雇用主」制度の推進に協力してはどうか。

1. 羽村市道について

(1) 日頃の維持管理について

- ① 外側線や横断歩道、センターライン等が薄くなっている箇所が多く見受けられるが、この施工はどのように行っているのか。
- ② 街路樹の剪定や雑草等への対策はどのようにしているのか。
- ③ 民地より道路に伸びている枝等への対策は。
- ④ U字溝等から土砂を除く排水対策は。
- ⑤ 電柱、街路灯、道路標識等の道路を占有している物件の管理は。
- ⑥ 石畳風の歩道は危険ではないか。
- ⑦ 補修工事は大規模なものから些細な工事までであるが、職員の直接工事と業者による工事はどのように仕分けしているのか。

(2) 道路整備の計画について

- ① 西地区道路整備計画の進捗状況は。隅切りは進んでいるか。
- ② あきる野市道548号線の完成はいつか。
- ③ 国道、都道を含めた道路に関しての全体計画を策定してはどうか。

5 人目

10 番

小 宮 國 暉
(60 分)

2. ごみ処理の効率化について

- (1) ごみ処理業務の統一に向けた進展について
- ① 担当者会議の開催の頻度は。また、内容は。
 - ② 構成市町のリサイクルセンター等の稼働年数は。
 - ③ 羽村市リサイクルセンター維持管理費は。また、構成市町それぞれ維持管理費は。
 - ④ 今後の統一化に向けた取組みは。

1. 高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができる体制づくりを

- (1) 団塊の世代が後期高齢者となる 2025 年問題を見据え、高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、市でも「住まい」、「医療」、「介護」、「予防」、「生活支援」が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築や、認知症施策を今後どのように推進していくか。
- (2) 推進するには地域包括支援センターの役割が重要と考える。今後どのように充実させていくのか。
- (3) 2025 年問題のひとつである認知症対策として、認知症サポーター養成講座について、以前より質問してきたが、本年 6 月の一般質問にて、中学生に対し認知症サポーター養成講座を実施したと伺った。その結果について、生徒の反応はどうだったか。また、今後の対応はどのように考えているか。

2. 薬物乱用防止対策の強化について

- (1) 学校教育において児童・生徒等の危機意識の啓発と有効な対策について
- ① これまで小・中学生には危険ドラッグ（脱法ドラッグ）等についてどのように教えているのか。
 - ② 従来から行っているセーフティ教室等における薬物乱用防止教育の実施状況や効果について、具体的取組みと実績状況はどのようになっているか。
 - ③ 正しい情報がきちんと伝えられることが必要と考えるが、共通の教材や資料等は活用しているのか。
 - ④ 児童・生徒だけではなく、大人への啓発も重要であると考えますが、保護者の参加状況はどういった状況であるか。
- (2) 市民への危機意識の啓発と有効な対策の推進について
- ① 危険ドラッグ（脱法ドラッグ）への認識、市民の危機意識の啓発についてどのように行っていくのか。

9 月 8 日

6 人目

18 番

川 崎 明 夫
(50 分)

- ②市内には、扱っている店舗はあるのか、市内においての事例はあるのか。
③国や東京都、警察署と連携した薬物乱用防止における有効的な対策として、店舗の設置、所持、使用の禁止といった条例の制定をすべきと考えるがいかがか。

1. 空き家対策について

- (1)市内の空き家や放置されている家屋は何件あるのか、実態調査はされたか。
(2)今後の対策をどのように考えているか。
(3)担当所管も、建築課・課税課・市民課等いろいろ関係してくると思われるが対応は。
(4)宅建業界との情報の共有化が必要と思うが。
(5)老朽家屋や取り壊し費用の問題、災害対策等、ほかの自治体の多くが条例化をしている。羽村市として制定は考えているのか。

2. 郷土愛を育む施策について

- (1)これまでの「郷土愛」についての取組みと、今後の施策は。
(2)教育課程に位置づけ学習している「羽村学」の成果は。
(3)市内にある公園や道路・坂道などできる限り子どもたちに名づけてもらってはどうか。
(子どもたちが日ごろ通称で呼んでいる公園や坂道があると思うので、聞き取りをしたりするのもよいと思う。)

9 月 9 日

7 人目

4 番

富 永 訓 正
(60 分)

1. 豪雨・豪雪対策について

- (1)市内での豪雨対策を推進するための課題を聞く。
(2)雨水管きよの処理能力について
時間雨量 50 ミリ対応での整備率が平成 25 年度末で 54.1%と聞く。今後の整備状況の進捗に伴い、長期的視野に立ち東京都等と連携して、新たに時間雨量 65 ミリや 75 ミリなどに対応できる雨水管きよを設置していく考えはないか。
(3)冠水対策について
①道路・公園内等冠水箇所の対策への取組み状況を伺う。
②冠水防止、排水機能維持のため、道路側溝・排水溝・浸透ます等の定期的な清掃が望まれるが、どのように考えるか。
③速やかな排水、側溝のメンテナンス性の向上、段差解消などの面でグレーチングが有効だが、必要な箇所の側溝蓋グレーチング化への計画を聞く。

9 月 9 日

8人目

8番

橋本弘山
(60分)

- ④浸透ます・浸透管（浸透トレンチ）・浸透側溝・透水性舗装など、必要箇所への雨水浸透施設の整備・増設等の計画を聞く。
- (4) 台風、集中豪雨での警戒態勢について
 - ①非常配備体制の各段階への移行基準は何か。
 - ②避難準備・勧告・指示の発令への基準を聞く。
- (5) 自助の観点から、・住んでいる地域、場所を知る。・気象情報に注意する。・早めの避難。こうした洪水や土砂災害から身を守るための最低限の3つのポイントのさらなる周知が必要では。
- (6) 市民の参画や行政と市民との協働を促進する上でも、避難所情報等をはじめとした防災・減災情報などの幅広い公共データをオープンデータ化してはどうか。
- (7) 豪雪時の対応についてどのような観点から対策を考えていくか。

2. 公園維持保全計画について

- (1) 市民の方からどのような声があり、それをどのように計画に反映されたのかを聞く。
- (2) 多くの市民の方から聞く要望について、今後具体的な対応をどのように行っていくか。
 - ①樹木の保全・剪定・植え替え
 - ②遊具の保全・撤去・新設
 - ③砂場の衛生管理
 - ④運動場・グラウンド状態の保全管理
 - ⑤公園出入り口・園内段差・トイレなどのバリアフリー化
 - ⑥誰もが利用しやすい清潔感があるトイレ整備
- (3) 災害時に避難場所となる市内の主要な公園に防災公園的な機能を持たせてはどうか。
- (4) 公園ボランティアの現状と今後の充実に向けた課題を聞く。

1. 身近な市民活動（アダプト制度）の取組みについて

- (1) この「アダプト制度」を承知しているか。
- (2) 一般のボランティア活動と異なる点はどこか。
- (3) 羽村市で該当する事例はあるか。
- (4) 他市の状況を把握しているか。
- (5) 羽村市でもこの制度をいっそう押し進めていくべきと考えるがいかがか。

2. 羽村市総合防災訓練にあたって

- (1) 夜間の総合防災訓練について
 - ①昼間と夜間の訓練の違いはどんなことが想定されたか。

9月9日

②夜間実施に伴い、町内会や自主防災組織からは説明会等でどんな意見、要望が寄せられたか。

(2)避難所の運営について

①複数の町内会、自治会が集結した避難所の中で、誰が主体となってその運営を行っていくのか。

②今後、避難所運営マニュアルに沿った本格的な避難所訓練を実施することが必須と考えるが市の見解はどうか。

(3)地域の拠点としての学校施設の機能の充実について

①停電時における照明の確保をどのように行っていくのか。

②最低2～3日の停電でも対応できるような蓄電設備や大型発電機の導入についてどう考えるか。

③ソーラーパネルの屋上設置を検討してみたらいかがか。

④東小学校や第三中学校に設置されている夜間照明設備を他校でも検討してみたらいかがか。

⑤さらに施設内の洋式トイレの普及を図っていくべきと考えるがいかがか。

⑥プールの水を利用する場合の濾過機の設置、可搬式ポンプの配置はどう考えるか。

⑦避難所周辺の利用可能な防災井戸の確保も必要と考えるがいかがか。

⑧緊急用の衛星電話設備は学校のどの場所に備わっているか。

⑨学校を避難所として使用する場合に、教職員への周知、研修はどのように行っているか。

(4)その他の避難所の開設について

①福祉避難所への避難の周知はどう行われているか。

②今後、さらに社会福祉法人等との協定を増やしていく予定はあるか。

(5)羽村市災害対策本部の組織について

①羽村市在住の職員が中心になるべきと考えるが市の考えは。

3. シルバー人材センターの現況について

(1)この3年間の会員数の推移は。

(2)この3年間の受注件数と契約金額の推移は。

(3)昨年の受注契約の中で、公的機関と民間との受注はそれぞれ何件で、契約金額はどの位あったか。

(4)昨年の事業内容の主なものは何で、その件数と契約金額はどの位であったか。

(5)実際に就業された実員数は何名で、全体の何パーセントにあたるか。

(6)現在の課題と今後の見通しは。

9 人目

11 番

馳 平 耕 三
(60 分)

(7) さらに支援していくべきと考えるが市の考えは。

1. 消費税率引き上げ後の市財政への影響と市内企業・家計への影響について問う

- (1) 消費税率の引き上げによって、市の歳入は、どれほど増加したか。
- (2) 消費税率の引き上げによって市の歳出はどれほど増えるか。
- (3) 国は、消費税の増加分は全額社会保障費にあてることを明言しているが、羽村市は歳入の増加分を何にあてる考えか。
- (4) 今年度の4月から8月の生活保護の申請は昨年の同時期と比べてどう増減したか。
- (5) 今後、市税や保険料などの滞納はどう変化すると考えているか。
- (6) 消費税率引き上げ後の市内事業者の現状をどう把握しているか。

2. 教員の多忙を是正し、もっと子どもと向き合える時間を増やせ

- (1) 市内小学校7校、中学校3校のそれぞれの学校の教員の1か月の残業時間は平均何時間か。また、最も長い人は1か月で何時間残業をしているか。
- (2) 市内小学校7校、中学校3校の教員の授業時間の平均（校長・副校長除く）は何時間か。
- (3) 会議時間の削減、校務の重複を避ける、学校運営の効率化等、工夫している学校があればその具体例は。
- (4) 教育委員会経由の調査・報告が多くなっているが、窓口である教育委員会が、こうした調査の必要性を吟味し、減らす工夫はできないか。
- (5) 改正学校図書館法が可決され、学校図書館に勤める専任職員を「学校司書」と明記しその配置を努力義務とした。担任との兼務を避け「学校司書」を置く考えはないか。
- (6) 部活動等地域の人材を生かす工夫も行われているが、今後、教職員の多忙の解決策の1つとして、より地域の人材を生かす考えはないか。
- (7) 学校の役割を明確化し、地域・保護者との役割を見直す時期に来ていると感じるが教育委員会の考えを問う。

3. 市民の命を守る施策をまず何より優先させるべき

- (1) 市内の過去5年間の自殺者の推移、児童虐待の認知件数は、それぞれどう変化しているか。

9 月 9 日

10 人目

2 番

富 松 崇
(50 分)

- (2)全国的にも児童虐待の件数は増加しているが、羽村市の場合、虐待の内容について何か特徴的な点があるか。また、虐待増加の原因をどう分析しているか。
- (3)自殺・自死対策基本条例（仮称）を作るべきだと考えるが市の考えを問う。
- (4)基礎自治体である羽村市が、市民と協力して、子どもの命を守るという観点から、子育て中の皆様とともに条例制定を目指すべきと考えるが市の考えを問う。

1. 地域コミュニティの機能強化について

- (1)町内会・自治会について
- ①市内の世帯数の推移は。
 - ②平成 23 年以降の町内会・自治会の加入率の推移は。
 - ③町内会・自治会組織は地域の活性化を図るうえで、重要な組織だと考えるが、加入率の低下をどのように捉えているか。
 - ④町内会連合会や各町内会・自治会での加入率増加への取組みに対しての支援体制は。
 - ⑤市として加入率を上げるために行っている取組みは。
 - ⑥長期総合計画にある町内会・自治会への加入率目標 50%をどのように考えているか。
- (2)PTA 組織について
- ①学校教育の充実を図るうえで、PTA 組織はどのような役割を担っていると考えているか。
 - ②PTA 組織の加入率の現状は。
 - ③未加入世帯への対応（PTA 組織への協力）はどのように図っているか。
- (3)市民活動団体について
- ①各団体の加入者数の推移は把握されているか。
 - ②各団体での加入者増強への支援体制は。
- (4)地域コミュニティの機能強化は今後、重要な施策となってくると考えるが、市としてどのように考え、また支援の充実を図っていく考えは。
- (5)町内会・自治会や PTA 組織、市民活動団体が情報交換できる場所を作る考えは。

9 月 9 日

11 人目

15 番

水 野 義 裕
(60 分)

1. 市が立てている様々な計画について

- (1)計画の種類と数について
- ①計画の種類にはどんなものがあるか。（長期総合計画・基本計画・実施計画 etc.）
 - ②市全体で計画と呼ぶものはいくつあるか。
 - ③法や条例などで作成を義務付けられているものはいくつあるか。

9 月 9 日

- (2) 各々が管理する計画について
 - ① 各々は上記の種類ごとに、それぞれいくつかの計画を作っているか。
 - ② それらは、それぞれのレベルで決定され、公表されるか。
- (3) 計画の体系について
 - ① それぞれの計画が、水平・垂直にどのように関係しているかを体系化し記述した文書を作成すべきではないか。
- (4) 計画の更新について
 - ① 長期総合計画では毎年3か年の実施計画で見直されているが、個別に立てられた計画の更新はどのように行っているか。

2. 公共施設の駐車場について

- (1) 富士見公園の駐車場について
 - ① 土地開発公社が購入した用地はいつごろ駐車場として整備する予定か。
 - ② 今後、市民体育祭や産業祭なども控えており、早期に活用できるようにすべきではないか。
- (2) ゆとろぎの駐車場について
 - ① 4つの駐車場それぞれの、1台当たりの年間使用料はいくらか。
 - ② 第二駐車場は、この1年で何度使われたか。実際の駐車状況を把握しているか。
- (3) スイミングセンターの駐車場について
 - ① 満車になるのは年間で何日あるか。
 - ② 近隣の公共施設の駐車場の利用を依頼した日数や利用台数などを把握しているか。
 - ③ 障害を持つ方の利用も多いと聞くが、駐車可能台数を増やすことを検討してはどうか。

3. OECDの国際教員指導環境調査(TALIS)の結果に関連して

- (1) 得られた示唆について
 - ① 「職能開発への参加意欲は高いが、業務のスケジュールや費用、参加への支援等に課題がある。」とあるが、市の認識は。
 - ② 「教員は生徒の主体的な学びを重要と考えているが、主体的な学びを引き出すことに対する自信が低くICTの活用を含め多様な指導実践の実施割合は低い。」とあるが、市の認識は。
 - ③ 「教員の勤務時間は他の参加国よりも特に長く、人材の不足感も大きい」とあるが、市の認識は。
- (2) 当面の取組みについて
 - ① 「教員の資質向上の推進」についてどのように取り組むか。
 - ② 「主体的に取り組む態度の育成など学習指導要領が目指す教育の推進」についてはどうか。

12 人目

5 番

鈴木拓也
(60分)

- ③「ICTを活用した教育の推進」についてはどうか。
- ④「教職員等指導体制の充実」についてはどうか。

1. 集中豪雨から市民を守る備えを

- (1) 市内全域に時間あたり 50 ミリの雨が降ると、どういう被害が起こると考えられるか。
- (2) 市内全域に時間あたり 100 ミリの雨が降ると、どういう被害が起こると考えられるか。
- (3) さらに雨量が増えると、どういう被害が起こると考えられるか。
- (4) これらのケースに対する対策はどのように進められているか。
- (5) 市民自らが、被害を抑えるために取れる対策には、どのようなものがあるか。
- (6) 8月9日、10日に羽村市に影響をおよぼした台風11号によって、信号「あさひ公園」付近の道路は冠水した。その理由は何か。今後、対策はどう取られるのか。

2. オスプレイの飛来日常化を防ぐ取り組みを

- (1) 横田基地へオスプレイが飛来した。周辺自治体の要請に耳を貸さず、飛来が強行されたことについて、市長はどう考えているか。
- (2) 国への要請について、東京都はどのような立場を取ったのか。共に要請に加わらなかったのはなぜか。
- (3) オスプレイの危険性について、市はどのような認識を持っているか。特に「オートローテーション機能」を持っていないことに関してはどういう認識を持っているか。
- (4) 今後、飛来が日常化される懸念が強くある。どう対応を図るか。

3. 就学援助制度の縮小はやめよう

- (1) 6月議会で、就学援助制度の拡大について「国や近隣自治体の動向を見極めたい」と答弁があった。その後、検討はなされ、対応は決まったか。拡大すべきではないか。
- (2) 要綱集の「羽村市就学援助交付要綱」の内容が改正されていないことが明らかになった。その理由は何か。
- (3) 同様のことが他の文書にもないか。対策は取られているか。

9月10日

13 人目

17 番

門間淑子
(60分)

1. 教員の長時間勤務は解消されたか

- (1) 平成18年度教員勤務実態調査が実施されてから、全国的に教員の多忙解消が進められて

9月10日

			<p>きたが、羽村市はどのような改善策を実施してきたか。</p> <p>(2) 残業時間の調査がなされているが、小学校での最高残業時間数と平均時間数はどれほどか。</p> <p>(3) 中学校での最高残業時間数と平均時間数はどれほどか。</p> <p>(4) 教育委員会に所属する非正規雇用の指導員は、どのような職種に何名いるか。</p> <p>(5) 教員の多忙解消に向けて、羽村市の特徴を踏まえ、残されている課題は何か。</p> <p>2. 共通番号制度で個人情報を守られるか</p> <p>(1) DV被害者などへの番号通知をどのようにするかは示されたか。</p> <p>(2) 特定個人情報保護評価はいつ頃実施され、どのように公表されるのか。</p> <p>(3) 自治体間事務委託が進んでいるが、共通番号制度への協議はなされているか。</p> <p>(4) 羽村市では、個人情報に関する業務委託をする場合は、再委託の禁止又は制限をしているが、システムの保守・点検も含め、再委託になっている業務はないか。</p> <p>(5) 共通番号制度についての周知は、ホームページと広報では不十分である。市民説明会や、状況に応じた個別の説明をすべきではないか。</p> <p>(6) 「地方公共団体における番号制度の導入ガイドライン」では、緊急時対応や職員研修が必要とあるが、それぞれ、どのような対応をするのか。</p>	
14 人目	1 番	印 南 修 太 (45 分)	<p>1. 子ども達の育成環境について</p> <p>(1) 屋外での育成環境について</p> <p>① グリーントリム公園や宮の下運動公園の一部で、定期的にプレイリーダーを配置した「冒険遊び場」をつくれないうか。</p> <p>② 環境学習の一環として、子ども達と一緒に多摩川の清掃をしながら、水辺の動植物や羽村の環境について楽しく学ぶ活動を定期的にできないか。</p> <p>(2) ゆとろぎと図書館について</p> <p>① クールシェアの視点から、8 月は月曜日も交互に開設し、学習の場を提供できないか。</p> <p>② 子ども体験塾などの広域連携イベントは、はむらんに車外広告をしてはどうか。</p>	9 月 10 日
15 人目	12 番	石 居 尚 郎 (60 分)	<p>1. 人にやさしい・安全な道路行政を</p> <p>(1) 道路維持保全計画策定後の道路への取組みについて</p> <p>① この計画は平成 25 年度から平成 34 年度ま</p>	9 月 10 日

での 10 年間の計画である。策定後、一年を経過しての全体としての進捗状況を聞く。

- ②道路のパトロールと点検の実施状況は。
- ③維持管理の状況は。
- ④生活道路の補修状況は。
- ⑤道路付属施設の修繕状況は。

(2) 今後の道路調査について

- ①今年 8 月にマイクロ波による道路の路面下空洞調査を試験的に実施したと聞いているが、マイクロ波による路面下空洞調査とはどういったものか。
- ②今回調査した内容と結果はどうであったか。
- ③試験実施を踏まえて、今後マイクロ波による路面下空洞調査する考えはあるか。

(3) 奥多摩街道の安全対策について

- ①間坂交差点の工事の進捗状況と完成時期は。
- ②羽村橋付近の道路整備について
 - ア 羽村東小学校の通学路変更経路と完成時期は。
 - イ 東京都水道局羽村取水所のセットバックの要請はしたか。

(4) あきる野市道 5 4 8 号線の進捗状況は。

(5) ベンチ設置のこれまで実績と今後について聞く。

2. 子ども・子育て支援新制度の影響は

- (1) 新制度による利用者への影響をどのように分析しているか。
- (2) 事業者への影響についてどのように聞いているか。保育園、幼稚園、認定こども園それぞれの立場から伺う。
- (3) 基礎自治体としての羽村市への影響はどうか。国・東京都・羽村市で行われている子ども・子育て会議等の進捗状況も含めて聞く。

3. 羽村の観光と産業振興計画について

- (1) 今後の観光振興策について市の考えを聞く。
- (2) 産業振興計画の概要を聞く。
- (3) 産業振興計画に観光振興はどう反映させていくのか。

1. 区画整理撤回要求 第 30 弾

- (1) 人口減少時代に向け、西口は修復的まちづくりに転換を
 - ①西口対象地区の人口 3000 人弱、計画人口 4200 人。達成できるか。
 - ②現在の世帯数と事業終了時の想定数を聞く。
 - ③商店街活性化のため商業地域の 1 階を店舗にする地区計画は現状無視ではないか。
 - ④事業計画決定時の商店、事業所数。現在の数と後継者の有無の数は。

⑤狭い道路の延長は5430m。セットバックや買収整備なら1㎡あたり20万円として10億円程度だ。移転がないから補償費230億円の大幅削減だがどうか。

⑥過去4回の区画整理では、終了時の事業費は当初事業費の平均3.7倍。西口なら1300億円だ。財政的に不可能ではないか。

⑦事業期間を延ばせば事業費は増大、住民は将来設計もできない。全市民にとって不幸と思わないか。

(2) 事業計画変更案への口頭陳述の結果を聞く

①陳述希望者と、実数はどうだったか。

②陳述内容はどうか。事業計画全般、換地設計、減歩、資金計画、補償、清算金、期間、その他、などの意見内容、意見数を聞く。

③都への見解書送付はいつか、その後の工程を聞く。

(3) 26年度事業の現状を聞く

①住宅市街地総合整備事業の計画作成で何が明らかになったか。

②移転計画の移転順序・移転手法・移転工法の図面はどんなものか。示してほしい。

③移転実施計画で全体の事業期間、総事業費を明らかにするという。33年度までの完了が不可能なら事業凍結、再検討すべきではないか。

2. 自衛官募集のための個人情報提供は慎重に

(1) 行政以外の第三者による閲覧の規定はどうなっているか。

(2) 自衛隊の閲覧はいつからで、その根拠法は何か。

(3) 閲覧対象の個人情報は何か。

(4) どのように使われたかを把握しているか。

(5) 仮に集団的自衛権で海外派兵されれば犠牲者も出る。慎重にしたらどうか。